

別紙 2

山陽小野田市まちづくり市民会議 会議概要

部 会 名	合併特例債活用事業検討部会
開催日時	平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日 (金) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 1 時 0 0 分
開催場所	市役所 3 階第 2 委員会室
出席委員	2 1 人 (欠席 2 人)
出席職員	市長・副市長・企画政策部長・広報広聴課 2 名・企画課 4 名 環境課 2 名・廃棄物リサイクル課 2 名・教育委員会 9 名
協議の概要	<p>○市長あいさつ ごみ処理施設については、精密機能検査の結果と宇部市の視察の結果と併せ再度検討する。</p> <p>○会議概要について 市民会議は市長の私的諮問機関であり、議案として提出するかどうかの判断をするもの。従って、市民会議の会議概要はこのような形をとっている。</p> <p>○議事 【小野田浄化センター（し尿処理施設）整備事業について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画の位置付けについて 2. 施設の必要性について 3. 施設の状況・建替え時期の考え方について 小野田浄化センター（平成元年設置）・・・大きな経年劣化の影響はなく建替えの必要はない。 山陽浄化センター（昭和 5 5 年設置）・・・経年劣化が著しく早急な対応が必要な状況。 4. し尿等の搬入量の推移について 5. 整備方針・事業概要（案）について 山陽浄化センターは貯留槽機能を残し小野田浄化センターへ機能統合する。小野田浄化センターは山陽分を受入れるために必要な基幹整備を行う。 6. 事業費と財源内訳（案） 総事業費・・・約 6 億円 財源内訳・・・合併特例債約 5 億円、一般財源約 1 億円

【小野田浄化センター（し尿処理施設）整備事業に関する主な質問と回答について】

問：小野田と山陽を1つにするのか。また、解体して建替えるのか。

答：山陽浄化センターは貯留槽のみを残して廃止し、小野田浄化センターへ機能統合する。一方、小野田浄化センターは現場所で山陽浄化センターの機能を統合（受入れる）するための基幹整備を行う。山陽浄化センターの解体費は事業費の中には入っていない。将来的には下水道への投入を検討する。

問：建設費6億円でうち5億円が合併特例債になるのか。また充当は7割でよいのではないか。

答：適債事業費の95%に合併特例債が使えるため億単位で算定するとこのようになる。また、7割算入は後年の合併特例債元利償還金に対して交付税措置されるものである。合併特例債は有利な地方債なので、充当は95%で計算している。

問：山陽浄化センターの貯留槽はなぜ残すのか。

答：合併協議の中で従前の許可区域を引継ぐ取決めがある。そのため、山陽の業者は山陽浄化センターに運搬するため貯留槽は残す必要がある。

問：山陽浄化センターから小野田浄化センターへの運搬の費用対効果はどうか。

答：正確に積算したものはない。バキュームカーでその都度何台も走行するより大型車で一回に運んだ方が経済的と考える。当面はこのやり方が経済的だと考えるが、将来的には検証しながら見直しも検討する。

問：小野田浄化センターを基幹整備することにより維持費はどうか。

答：貯留槽のみの管理となるので、人件費や光熱水費等維持費は現在ほどかからないと見込んでいる。

問：汚泥は最終的にどのように処分されるのか。

答：山陽浄化センターでは乾燥させて堆肥として利用している。小野田浄化センターでは施設内で焼却し環境衛生センターの最終処分場で処理している。

問：山陽浄化センターの堆肥利用について。(①いつからか。②無料であるか。③市民への周知は。)

答：①詳しくは把握していない。当初からではないと思う。②無料で提供している。③特に周知はしていない。合併前から数人に提供している。来年1月を目処にきちんと基準を作成する。

問：山陽浄化センターは合併時から寿命が来ていたのか。

答：合併時から老朽化が著しいのは把握していたが、現在ほどではなかった。

問：浄化センターを新築した場合の経費は

答：2施設を統合した規模を新設すると30数億円かかる。

問：一般財源分の財源確保はできるのか

答：今後作成予定の財政計画の中でお示しして行きたい。2つの施設を1つに統合することによって維持費等が減額できるので、それも財源になる。

【結論】

合併特例債活用事業として承認する。

【火葬場整備事業について】

1. 計画の位置付けについて
2. 施設の必要性について
3. 施設の状況について
4. 火葬場使用状況について
5. 建替え時期の考え方について
6. 概算事業費と財源内訳（案）について

総事業費・・・約17億円

財源内訳・・・合併特例債約14億円

一般財源約3億円

- ・火葬場建設は国等の補助制度がないため全額市の負担となる。
- ・合併特例債を活用して新築した場合と他の地方債で新築した場合の実質的な負担差が約11億円である。

7. 今後の方針（案）

今後約1億円で両斎場の炉を改修し、建物についても一定の費用を投じて改修を行えば約20年は使用が可能であり、緊急に建替える必要性はない。しかし、統合（新築）するとすれば、市の実質的な負担差11億円も判断の対象として考慮する必要がある。

【火葬場整備事業に関する主な質問と回答】

問：場所はどこを想定しているのか。規模はどうか。小野田側ではどうか。

答：山陽斎場を想定している。炉は5基を想定している。小野田側で作り直そうとすると法律上の手続きのハードルが高い。

問：合併特例債と他の地方債を使った場合の差はどのようにして算出したのか。

答：借入れ利率は現利率より高い年2%で試算している。

問：事業費に解体費は含んでいるか。

答：含んでいる。

問：新しい火葬場の環境整備はどうか。

答：山陽斎場の隣接地を考えており地元等の説明と了解も必要と考えている。

問：待合室等も含めてきちんとしたものを作り、そうした環境の中で最後を家族で見送りたい。合併特例債を使わなければどうか。

答：財源的にはメリットが大きい。2つの施設を1つにすることの経費的なメリットがある。

既存施設の活用も含め検討する必要がある。その他売店等の市民サービスの向上も見込まれる。財源的には26年度までに建設した方がよい。

【結論】

合併特例債事業として承認するものの、合併特例債の総枠等を考慮して最終的に判断する。

【学校施設耐震化事業について】

○教育長あいさつ

基本方針は子どもたちの安全と地域から学校をなくさないこと。

1. 耐震化の必要性について
2. 耐震化の方法について
3. 小中連携教育について
4. 耐震二次診断の結果について
5. 耐震化の全体計画について
6. 事業費と財源内訳について

厚陽校区小・中学校	総事業費・・・	20～25億円
	財源	交付金等 4億円
		合併特例債 18億円
		一般財源約 2億円

埴生校区小・中学校	総事業費・・・	20～25億円
-----------	---------	---------

	<table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">財源</td> <td>交付金等</td> <td>4 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合併特例債</td> <td>1 5 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源約</td> <td>2 億円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td>その他の校区の耐震化</td> <td>総事業費・・・</td> <td>2 0 ～ 2 5 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>財源</td> <td>交付金等</td> <td>8 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合併特例債</td> <td>1 2 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>一般財源約</td> <td>3 億円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">【委員からの統合案提出】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">厚狭中・厚陽中・埴生中統合案の提出あり</td> </tr> <tr> <td colspan="3">提案理由：①少子化による生徒数の減少</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ②各中学校の老朽化及び耐震化</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ③学校間の教育格差の是正</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">【次回開催日】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1 0 月 2 9 日（木） 1 9 : 0 0 ～市役所 3 階大会議室</td> </tr> <tr> <td colspan="3">学校施設の耐震化と統合について検討する。</td> </tr> </table>	財源	交付金等	4 億円		合併特例債	1 5 億円		一般財源約	2 億円				その他の校区の耐震化	総事業費・・・	2 0 ～ 2 5 億円		財源	交付金等	8 億円			合併特例債	1 2 億円			一般財源約	3 億円				【委員からの統合案提出】			厚狭中・厚陽中・埴生中統合案の提出あり			提案理由：①少子化による生徒数の減少			②各中学校の老朽化及び耐震化			③学校間の教育格差の是正						【次回開催日】			1 0 月 2 9 日（木） 1 9 : 0 0 ～市役所 3 階大会議室			学校施設の耐震化と統合について検討する。		
財源	交付金等	4 億円																																																								
	合併特例債	1 5 億円																																																								
	一般財源約	2 億円																																																								
その他の校区の耐震化	総事業費・・・	2 0 ～ 2 5 億円																																																								
	財源	交付金等	8 億円																																																							
		合併特例債	1 2 億円																																																							
		一般財源約	3 億円																																																							
【委員からの統合案提出】																																																										
厚狭中・厚陽中・埴生中統合案の提出あり																																																										
提案理由：①少子化による生徒数の減少																																																										
②各中学校の老朽化及び耐震化																																																										
③学校間の教育格差の是正																																																										
【次回開催日】																																																										
1 0 月 2 9 日（木） 1 9 : 0 0 ～市役所 3 階大会議室																																																										
学校施設の耐震化と統合について検討する。																																																										

※ 1 回の会議ごとに作成すること。